

◇ ◇ CEATEC JAPAN 2018 電子情報通信学会東京支部シンポジウム ◇ ◇

IoT (Internet of Things) は、新しいサービスも出始めており、ますますその応用範囲が広がっています。各種工場での機器監視制御や工程管理での応用はもちろん、スマートメーターに代表されるエネルギー産業での利用、自動運転支援などの自動車や鉄道などの交通分野、RF タグによる物流管理、橋や道路でのインフラ監視、建設機械の監視制御、農場環境管理などの農林漁業利用、医療機器や生体センサーなどの医療介護分野、家庭内における家電や電力制御、更には防災減災対策での利用など、幅広いサービスが期待されています。また、これらサービスは1企業で提供できるものから、複数企業が協調して提供するものなど、サービスの提供形態も様々です。そのため、様々なサービスを提供する前に、トライアルがなされるなど、実験的な試みも多々あります。

これら広がりつつあるIoTではあるものの、新たなビジネスとするためには、どのような技術を活用し、どのようなパートナーと連携し、どのようにサービスを提供していくか、多くの方が悩み、知恵をしぼっている日々ではないでしょうか。本シンポジウムは、その様な皆様に対して、多少なりとも次の開発やビジネスを考える参考やきっかけになればと思い企画致しました。

本シンポジウムでは、様々なIoT応用現場の第一線で活躍されている方々をお招きし、講演を行って頂きます。海外を含め、標準化会合での議論されているIoTのユースケースや、モバイルオペレータの取り組み、農業IoTの取り組み事例、IoTプラットフォームの活用例、メーカーが提供するIoTの活用事例など、各分野・レイヤの方から多くの事例とこれまでの成果を御紹介頂き、また現在の課題や今後の展望を御講演頂きます。

開催日：2018年10月17日(水) 14:00~16:40

会場：幕張メッセ国際会議場 3F 303 会議室

テーマ：IoTが生み出す新たなビジネス~様々な分野での事例から~

プログラム (敬称略)

14:00~14:05 開会挨拶

山田昭雄 電子情報通信学会東京支部長, 日本電気株式会社エンタープライズビジネスユニット理事

14:05~14:35 ITU-T/SG20: IoT and smart cities and communities の標準化動向

端谷隆文 富士通株式会社環境・CSR 本部エキスパート

14:35~15:05 IoT 実践事例とプラットフォーム活用

高橋 範 株式会社ソラコム事業開発マネージャー

15:05~15:35 AI/IoT から始まるデジタル農業

池田博樹 株式会社 TrexEdge 代表取締役社長

15:35~16:05 (仮題) NEC における IoT の取り組み

松田尚久 日本電気株式会社デジタルサービスソリューション事業部 シニアマネージャ

16:05~16:35 IoT×AI による移動予測と交通~次世代モビリティに向けたドコモの取り組み~

那須和徳 株式会社 NTT ドコモ IoT ビジネス部担当部長

16:35~16:40 閉会挨拶

山田昭雄 電子情報通信学会東京支部長, 日本電気株式会社エンタープライズビジネスユニット理事